

8委員会所属

民生常任委員長就任

定数報酬委でも委員長、広報広聴委では情報部長

改選後、5月19日に臨時会を開会し、議長・副議長をはじめ、諸処委員会の所属が決定いたしました。私、相田光昭は、全議員で最も多い委員会と議会選出委員に決定し、責任を感じています。常任委員会では、3年目となる『民生常任委員会』で委員長を拝命することになりました。それに伴い、『民生委員推薦会委員』『米沢市社会福祉協議会理事』『山形県共同募金会米沢市支会理事』も兼務しています。民生委員会は、米沢市予算約350億円中、120億円の使途を預かる、謂わば「市民の生命・健康に直結する委員会」です。多岐にわたる政策に分かれており、それらすべてに精通している必要が、委員長にはあります。その基礎があつて初めて委員会采配ができることから、多くの勉強を重ね、市政向上へ寄与していきたいと考えています。



民生常任委員会の様子 (6月22日、委員会室)

また、議会進行を司る『議会運営委員会』と『予算』『決算』『市立病院建替検討』の3特別委員会で委員を。3年連続所属となる『議会だより編集委員会』と『議会広報広聴委員会』。広報広聴委では、新設された「情報部会」で部長の任をいただきました。この情報部会の大きな役割は、老若男女すべての世代に、より議会を知っていたり、実行していただく施策を

くことです。その手始めに、「議会ホームページ」の刷新と、全議員が各班に別れ全中学校へ出向く「中学校出前市議会」を行っていく予定です。今後内容については、ホームページや議会だよりに掲載していきたいと思っておりますので、ご確認いただければ幸いです。

そして、今会期で一番の大きな重要事項が「議員の定数と報酬」についてです。様々な市民アンケートなどからも注目があつたことに対し、議長は諮問委員会として「議員定数・報酬検討委員会」を設置しました。その委員長に私が就任し、調査研究を重ねることになりました。

「議員は多すぎる！」「報酬に見合った活動をしていない！」との厳しい意見も、市民の中にはあります。その言葉は、真摯に受け止めるべきだと思えます。ただ私は、闇雲に削減するだけではなく、この米沢市にとって最良の定数と報酬を、

実情に沿ったあらゆるデータと理論を重ね、市民意見を含めながら、平成29年3月定例会に上程すべく2年間にわたり深い議論をして、答えを導きたいと考えています。

新生「一新会」

過半数越える最大会派に

平成19年に結成された「一新会」は、2度の改選を迎えながら、今年で9年目を迎えました。そこには、想いを同じくする仲間達の結束力があつて出来得ることだと、我々は自負しています。私が初めて所属した4年前は、最大でも7名所属の会派でした。しかし今期は、13名という過半数を有する最大会派として、新たな出発を遂げました。当選9回から初当選の議員、最高齢74歳の先輩から27歳の若手後輩まで、老若男女様々視点から議論ができるという大きなメリットがあります。しかし、そこには大きな責任も存在すること、私たちが一人ひとりが自覚しなければならぬと感じています。過半数を有するということは、私たちが一枚岩になればどんな議案に対しても、可決にも否決にもできるということになります。つまり、いい加減な議論をしていけば、市民のためにはならないということになります。数の横暴と揶揄されることなく、謙虚に真摯に議論を進める会派としていきたいと思えます。



(前列左から) 島海副代表、島軒代表、海老名議長、(中列) 齋藤千恵子、成澤和音、佐藤忠次、山村明、工藤正雄、皆川真紀子 (最終列) 堤郁雄、相田光昭幹事長、中村圭介、鈴木藤英 各議員の計13名



議席番号はどうやって決めるの？

市民のみなさん！議会のことをどのくらいご存じですか？私もお恥ずかしい話し、議員になって初めて知ったこと、理解したこと、目から鱗の事柄などなど。普通に生活していても、わからないこと、疑問がわくこと、とがたくさんあるのだと感じました。そんな様々な「議会のはてな？」について、今号から皆様へお知らせしていきたいと思えます。記念すべき第1回は、「議席番号の決定」についてです！

議席番号

米沢市議会には、24の議席があります。この議席は、どのように決まるのか知っていますか？実は、人数の多い会派から自由に選べるのです！つまり、最大会派から選択権を得るので、

米沢市議会の場合は、私の所属する会派「一新会」が最大会派なので、私たちが選べる。その後、次に大きい会派が、またその次へと、選択権が移って

いき議席が決定してきます。ちょっと豆知識を。よく「右翼」「左翼」という言葉を聞くと、今号から皆様へお知らせしていきたいと思えます。議席に由来していることはご存じでしたか？辞書を調べてみると、フランス革命当時、議長席から見て右側の議席を占めた国民議会(旧体制を支持する勢力、いわゆる「保守」派)が「右翼」。反対に左側の議席を占めた共和政策や世俗主義(より平等な社会変革を支持する勢力、いわゆる「急進」派・「革新」派)が占めたこと由来する「左翼」と呼ばれました。その名残は、現在でも残っており、右側には保守系議員、左側には革新系議員が座ることが多いようです。



「9」

▼みなさんは、数字にどのようなイメージを持っておられるだろうか？「ラッキー7」、「語呂合わせの1122(いい夫婦)」など、人は数字に意味を求めようとする。では、「9」という数字は、どんなイメージだろうか？「9」は、「苦」を連想させるから不吉という方もおられると思う。何を隠そう、私も「9」に対するイメージは決して良いものではなかった。でも、今ではラッキーナンバーに近い好きな数字となったのである。

▼みなさまに当選させていただいた2回の選挙。私は、この選挙を戦わせてもらって、「9」という数字に大きな意味を持つようになった。▼初当選の得票数は2999票、二期目の選挙が2349票であった。普通に見れば、何気ない数字かもしれない。しかし私は、2回とも最後の「9」で終わっている。▼前述したとおり、私は「苦」を想像させるこの数字は好きではなかった。その想いのままでいけば、当然得票した末尾の「9」は、苦しいものを表しているということになる。しかし、選挙の様子が与えてくれた最高「4」も好きである(笑)

▼議員にとって最も大切なことは、しっかりと人の話に耳を傾けることである。膝をつき合わせて、目線を同じにして、内容の大小にかかわらず、話しを真剣に受け止める。▼議員にとつて最も大切なことは、しっかりと人の話に耳を傾けることである。膝をつき合わせて、目線を同じにして、内容の大小にかかわらず、話しを真剣に受け止める。▼議員にとつて最も大切なことは、しっかりと人の話に耳を傾けることである。膝をつき合わせて、目線を同じにして、内容の大小にかかわらず、話しを真剣に受け止める。